



10月附幼だより

令和5年9月29日

日々の遊びの延長が旭岳登山

附属旭川幼稚園園長 佐藤 公文

9月26日は春光台公園への遠足でした。片道1,7km、往復3,4kmの道のりでした。春光台公園の遊具の無い場所、初秋の林の中で遊びました。公園には遊び心を刺激するものがたくさんあって、どんぐり拾い、虫捕り、おにごっこなど、みんな楽しく遊びました。自然の中で遊ぶことは新しい発見があり、新しい遊びが生まれます。幼児期に自然の中で遊ぶことは必要なことです。

おひさま組とことり組の皆さんは往復3,4kmの道をしっかり歩くことができました。歩くことはとても大事なことです。足腰を鍛えるという体力の面ではもちろんですが、心の安定や心の成長という意味でも大事です。(足の刺激が脳に良い影響があるといわれます)また、春光台公園の園児が遊んだ場所は、公園なのである程度整備されていますが、平坦ではなく、緩やかですが山や坂、谷などがある場所です。ここを走るというのも、様々な体の動きができて良い場所です。転んでケガをするリスクはありますが、体が軽い幼児期にある程度のけがを経験することで、その後の成長の中で「危険から身を守る」という体の動きができるようになると思います。

幼稚園の園庭でも園児たちは活発に遊んでいます。最近はバランスバイクで築山から下りてくる子ども多くなりました。体幹、バランス感覚が育っているので、転ばなくなってきました。様々な体の動きを経験した園児だからこそ、5歳の年長になると、嵐山登山(往復1,4km) 旭岳姿見の池コース(一周2km)に連れて行ってもしっかり歩けるのです。自然の中での活動は登山でも、キャンプでも、川の遊びでもリスクは伴います。でも、自然の中で遊ぶことは人の成長に必要です。

冬はもうすぐ、残り少ない秋を楽しみましょう。

キノコがきれいです 写真のキノコは春光台公園で見つけました。多分、すべて毒キノコです。でも、キノコの役割の一つは腐った木・落ち葉などを分解して土に戻すということです。キノコには様々な色と形、においがあります。個人的には森の中で様々なキノコを見るときれいと思います。

気温が高いせいか、園庭のキノコはあまり出ていませんが、これから幼稚園の園庭でも様々なキノコが出ます。ちょっと気にして見てください。写真の茶色のキノコ2



つは傘が1cmくらいで小さいです。

秋は、たくさんのキノコが店頭に並びます。



おいしく食べたいですね。

